

## 1. 目的

昨年度のワークショップでは、EIAに携わる実務者レベルで、EIAの概念、課題、優良事例等を共有し、関係者の緩やかなネットワークが形成された。

本会議では、このネットワークを維持・発展させ、課題の解決に向けたニーズとグッドプラクティスのマッチング、他の国々や国際機関等との連携に向けたきっかけづくり、将来の政策ビジョンの形成を図る。

## 2. テーマ

“Enhancing EIA as a sustainable planning tool in Asia”

## 3. 日時・場所

日時：2016年5月10日

場所：愛知県名古屋市 キャッスルプラザ

## 4. 主催・協力等

主催：環境省 協力：アジア開発銀行(ADB) 事務局：地球環境戦略研究機関(IGES)

## 5. 参加者（予定） 参加総数120名程度

- ・アジア16カ国及び日本の環境影響評価の実務に携わる政府関係者、専門家、事業者、NGO/NPO
- ・アメリカ合衆国及びオーストラリア連邦政府関係者
- ・援助機関等の国際機関(ADB、国際金融公社(IFC)、国際協力銀行(JBIC)、国際協力機構(JICA)、アメリカ合衆国国際開発庁(USAID)、世界銀行 等)
- ・その他環境影響評価に係る海外関係者

本会議における議論の結果や成果については、IAIA16において報告予定。

# インパクト・アセスメントの 国際会議 日本で初の開催

## IAIA16 , Japan

### *“Resilience and Sustainability”*

2016年5月11日-14日、愛知・名古屋  
国際影響評価学会 (IAIA) 年次大会

#### IAIAとは

- ◆学会名： International Association for Impact Assessment (国際影響評価学会) 1980年設立。
- ◆事務局：アメリカ合衆国ノースダコタ州ファーゴ (ウェブサイト: <http://www.iaia.org/>)
- ◆会員数：世界120カ国から 1,783名の正会員。各国のアセスメント関連学協会17団体と連携
- ◆テーマ：エネルギー、気候変動、生物多様性・生態系、交通・インフラ整備、水環境・治水、災害管理、鉱山開発、文化遺産、食の安全などの多様な分野において、環境面に加えて経済面、社会面、技術面など幅広い観点から影響評価と合意形成のあり方を検討。いわゆる環境アセスメントの領域を超え、戦略的環境アセスメント、リスク評価、健康影響評価、社会影響評価、持続可能性評価など多岐にわたる。